



ひびきあい

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/kamiteraou/>

根張りの大切さ ～運動会から～

副校長 杉山貞文

5月21日(土)に、前半と後半の2部に分かれ、『令和4年度 上寺尾小学校運動会』を開催しました。雨天中断もあったため、24日(火)にも、全校児童が校庭に出て応援する中、後半の部の残りプログラムを行いました。2日間にわたっての参観や児童の健康管理、実施後のアンケート等、保護者の皆様のたくさんのご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

今回の運動会で強く感じたことがあります。それは「当日の笑顔や輝きももちろん素晴らしいことだが、その日を迎えるまでの間に、子どもたち一人ひとりが、その子なりの頑張り・努力をしている」ということです。ある学年の、体育館での演技練習を参観した際、早い段階での振り付け練習だったため、間違えたり遅れたりする子が多く見られました。しかし、「うまくいなくて嫌になった。」「何本も踊るから疲れる。やめたい。」という様子はなく、最後まで何度でも振り付け練習を繰り返す姿を見て、「まだやるのか。」「あきらめずによく粘るなあ。」と感心してしまいました。その日のラストに行った『音楽に合わせて踊る』では、全ての子どもがうまく踊っていたわけではありませんでしたが、「あの粘りが、大切な根張りの一つになっているんだなあ。」と、改めて感じる事ができた出来事でした。

小学校生活は、人生のうち的一部分。長いようであっという間に過ぎていきます。人生を植物の成長に例えるなら、この6年間は、「根張り(根を張る)」の時期だと考えます。「根を張る」という言葉には、「深く広がって、動かしがたいものになる」という意味があります。人における「根張り」とは・・・。「夢や目標を達成させること＝花が咲く、実を結ぶ」と考えるならば、「それを成し遂げるための力を付けたり、考え方をもったりする等の一つ一つの努力や経験を積み重ねる＝根を張る」ことだと考えます。当たり前のことを言っているように思いますが、この根張りの大切さは、自分自身でしっかりと意識していないと、つい忘れてしまうものです。植物が成長して花を咲かせると、どうしてもそちらの方にばかり目が向き、その花を支えている幹や葉、地面の中の根の存在には気付きにくくなるからです。美しい花も、その成長を支えるために、長い年月をかけて地中深くまで伸びていった根があるからこそ、咲かせることができるのです。

また、深く深く根を張り、後に美しい花を咲かせるためには、そもそも種をどんな「土」に植え、芽が出た後にはどんな「風」にふかれながら成長していくのか、ということも大きくかわります。土は植物を支え、たくさんの栄養を与えます。風は時に厳しく時に暖かな空気を送ります。子どもたちにとっての「土」は、足元をしっかりと支える保護者の皆様・地域の皆様であり、ずっとここ(上寺尾のまち)にあるものです。「風」は、外からやってきて、しばらくの間だけ子どもたちとかかわり、影響を与え、去っていく私達教職員。そんな大事な「土と風」の役割を担っている私達の方で、未来に大きな花を咲かせるであろう子どもたちの大切な「根張り」の6年間で、共に支え続けていきたいと思います。

まだ5月が終わったばかり。今年度は10か月も残っています。今後も、子どもたち一人ひとりが、それぞれの頑張り・輝きをたくさん見せられるよう、職員一同、全力で支援していきたいと思っております。

☆今月の上寺尾短歌☆

本番の 輝く姿も 好きだけど ガチ練習の 顔もっと好き
全員が 自分の走りを 振り返る 次につながる 4点差
あたたかい 厳しいキツイ 生ぬるい いろんな風が みんなを伸ばす